

「紫友まち歩き」 100回達成記念誌

(旧称85周年会のまち歩き)

2005年1月15日第1回~2023年12月2日の記録

「紫友まち歩き」 100回達成記念誌

(旧称 85周年会のまち歩き)

2005年1月15日第1回 ~ 2023年12月2日第100回

今後**200**回と 継続することを祈念

2024年1月発行 編集者 発行者

小林偉昭017D

まち歩き世話人柴田知彦**017D**

85周年記念紫友同窓会から

「85周年会」が始まりました

85周年会とは:

85周年記念紫友同窓会では、第1回小石川賞、伊藤長七展、 鯉のぼりの上がりし日再現など仲間による準備が花開き ました(下記写真参照)。巣鴨の町は五中、小石川の卒業生 1,400人以上であふれかえったと言われています。

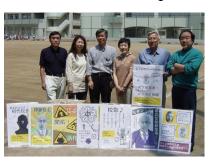
以降、85周年事業実行委員会は、「85**周年会**」として存 続し、年次を超えた縦横クロスオーバーのクラス会様の ものに移行することになりました。

紫友同窓会会報31号創立85周年記念紫友同窓会の記事「私の五中・小石 川さがし」(85周年事業実行委員長 柴田知彦(017))から抜粋。

この活動が**85周年会まち歩き**になりました。







伊藤長七パネル のメンバー。





バレー部卒業生協力制作の平成鯉のぼり。2

そもそも、「紫友まち歩き」って何?

2003年5月25日に創立85周年記念紫友同窓会で一緒に活動したメンバー同志は、そのままでは別れ難く「今後もたまには機会を設けて会いましょう」ということで、有志の企画による「旧第四学区」を主に2005年1月15日に、第1回「85周年会まち歩き」が始まりました。以降、柴田知彦017Dがまち歩き世話人として、有志の企画策定・実行に協力し続けています。2008年11月にはアモイ・コロンス島でのまち歩きが実施され、海外や地方でのまち歩きにも拡大しています。ただひとつの不文律は最も自由です。この飲み会で次回の企画が自薦他薦で決定しまれ、参加者はその旨返事します。実施案内はメールで発信され、参加者はその旨返事しまますが当日飛び入りも自由です。幅広い仲間の参加により2014年10月25日No.58第47回以降は、幅広い同窓生が参加するようになったため、名称を「紫友まち歩き」としました。

本記念誌は、まち歩き世話人が、広く記録を配布し、関係者の手元に残すことにより、紫友まち歩き活動の意義を歴史に残すために企画・発行されました。

なお、本記念誌は、紫友同窓会ホームページのアーカイブ「卒業生こんな人、あんなこと」「紫友まち歩き」 実施記録(公開)をベースに編集しています。全体が見たい人は、アーカイブを参照してください。

紫友まち歩き 実施記録 (旧85周年会まち歩き)

通UNo. 回数	日付	天候	タイトル	案内人	コース
No.100					小石川中等教育学校正門前 → 明化小 → 文京十中、
祝 100回 達成	2023.12.2	暗	小石川正門から ゆかりの地を巡る	倉林	林町小等 → 占春園・教育の森公園 → 旧同心町校舎 (現茗台中) → 竹早高校 → 傳通院 → 善光寺坂のム クノキと澤蔵司稲荷 → こんにゃく閻魔 → 懇親会
	-	1			

通しNo./回数は、2017年から通しNo.だけとしています。

No1/第1回 2005.01.15 雪 向島界隈・ディープな下町を 川口東武曳舟駅 - 京島 - 隅田川・桜橋 - 向島料亭花街 - 鳩の街 - 地蔵坂 - 向島百花園 - 東向島(旧玉の井) →魚喜代 <報告書なし>

No.2/第 2 回 2005.04.02 晴 お花見 向島その 2 川口 東武曳舟駅 - 京島ーキラキラ橘商店街 - 東向島 - 鳩の街 - 向島花街見番 通り - 隅田川テラス(ミニワイン(MW)パーティ)→鯛めし松の実

前回の好評に応え、参加できなかった方達のために再度挙行された。今回は、お花見と向島のまち歩き。今回は16名が参加。

墨堤で川口さん達持参の赤ワインを 数本楽しむ。キラキラ橘商店街あった焼き鳥やパンでではでいる。 ではき鳥に、そばではでいまみに、そばではアインでのまみに、隅口には変を での船を看にはないます。 との船を見いれる。 とのおで見めの提ります。 との提ります。 とのにはた。 とのによりできまります。 とのによりできまりた。







No.3/第3回 2005.06.04 曇 谷根千めぐり 長谷川、星野日暮里駅 - 谷中墓地 - 築地塀 - 岡倉天心記念公園 - 朝倉彫塑館 - 経王寺 - 谷中銀座 - 蛇道 - 猫町 - 根津神社 - 藪下通り - 鴎外記念本郷図書館 - (夕立:須藤公園脇の急坂を駆け下りて)→天外天

2005年6月4日(土曜日)午後2時西日暮里集合。晴れのち突然の雨。日暮里駅をスタートに不忍通りを挟んだ谷中の一部、千駄木、根津の古き、良き街、谷根千の探索を企画。坂の上りはできるだけ少なくして、朝倉彫塑館、森鴎外記念図書館で時間をとって足を休め、根津神社や須藤公園で緑をめで、チョコチョコお買い物もできるようにコース取りしました(つもりな)のでお楽しみに!この回は14名が参加。

観音寺築地塀



タやけだんだん



谷中商店街で買い食い







猫町の猫たち



No.4/第4回 2005.11.12 平成15年 晴 根津・湯島・本郷 長谷川、岡田、小野寺 根津駅-水月ホテル-異人坂-竹久夢二美術館-立原道造記念館-岩崎邸-湯島天神-麟祥院-東大構内-一葉会館-かねやす-金魚堀-文京ふるさと歴史館-一葉井戸-一葉質屋-富士屋ホテル跡-伝道会館-本郷館 →山猫軒

谷根千に続き、根津・池之端・湯島・本郷・・とても密度濃い質感のあるまち歩き!この回は13名が参加。

水月ホテル鴎外荘 日本建築と庭を楽しむ。森鴎外 はここで処女作「舞姫」を執筆





一本裏の路地へはいると、一葉の井戸(今も使われている)と 奥の階段の雰囲気がよい

一葉の通った?質屋。既に道筋 は真っ暗



残念ですがこの頃は報告書を残していこうという考えはありませんでした。いくつか報告書がない回があります。

No.5/第5回 2006.03.25 晴 本郷・小石川・白山 小野寺、長谷川、 河端 東大正門前-仏教教会-求道会館-学生寄宿舎-こんにゃ くゑんま-信州善光寺参堂-伝通院-播磨坂-目赤不動 →長寿庵

No.6/第6回 2006.11.19 雨 国分寺界隈 星野 西国分寺駅 - 姿見の池 - 日立中央研究所庭園 - お鷹の道 - 湧水群 - 万葉 植物園 - 国分寺跡 - 国分寺駅 →駅ビル喫茶店

No.7/第7回 2007.04.01 晴 護国寺・目白 星野、柴田 護国寺-雑司ヶ谷墓地(長七墓)-旧角栄邸-細川邸-カテドラル-椿山 荘-神田川の桜-小日向(鳩山御殿と文豪達の居所)-播磨坂(MW パーティ)→茗荷谷駅前の居酒屋(店名?)

No.8/第8回 2007.06.23 晴 小石川植物園 柴田、俵 小石川植物園(柴田記念館)-林町-俵旧宅-田月-高岩寺(とげ抜き 地蔵)→連家

No.9/第 9 回 2007.08.11 晴 駒込界隈 柴田 駒込駅 - 古河庭園 - 霜降橋 - 六義園入口 →庄や

No.10/第10回 2007.11.10 晴 六義園と小石川セミナー 小野寺 六義園 - 大和村 - 小石川セミナー(講師;丸山茂雄「リーダーの人間 力」) →こばん

No.11/第11回 2008.02.16 晴 田端 川口 田端駅 - 田端文士村 - 赤札不動 - 大龍寺 - 不忍通り - 駒込 →庄や

No.12/第12回 2008.04.05 晴 花とワインの午後 松木 中井駅 - 林芙美子記念館 - 妙正寺川沿い - 哲学堂公園 (MWパーティ) - 中野通り花見 - 新井薬師 - 薬師通り商店街 - 中野ブロードウェイ - 中 野駅 → 富樫勝彦ライブ (六本木サテンド-ル)

No.13/番外01 2008.04.26 雨 SKM若葉パーティ 柴田 SKM(柴田さん主宰の建築設計事務所)の懇親パーティ No.14/番外編02 2008.11.14~ 11.16 晴 海外編 アモイ・コロンス 島まち歩き 伊藤

11.14 成田 - アモイ空港 - (ホテル) - 南普仏陀寺 - 金門島 - 海鮮料理 - K T V

11.15 万石植物園 - 中山路 - 鷺江酒店 - コロンス島 - 望春風

11.16 ショッピングー(ホテル)-アモイ空港-成田

12.23 記録報告会

海外と言ってもたった 4 時間弱、週末の時間を利用したいつものまち歩きの延長線上的な感じです。「公園都市アモイ」を皆様にご案内したいと思います。台湾の向かい側です。晴れていれば海岸から肉眼で金門島が見えます。気候は一年を通して温暖なのでとても過ごしやすく、中国人にとって退職後の余生を送るあこがれの地です。

参加者: 13名



「一国両制統一中国」と書かれた大きな文字看板が見えてくる。駐車禁止のようだが、数分だけならOKといって全員バスから降り金門島を眺める。手前のほうの小さな島が小金門島で、大金門島だという。大金門島だといるのが台湾だといるのではるの運転手が説明。「一国両制統一中国」の看板をバックに記念写真を撮る。

4台のタクシーで万石植物園に向かう。 今日も晴れていて、楡やブーゲンビリ アの花がきれい。9:30に万石植物 園前に全員集合。以降、自由見学開始。 最悪のことを考えて、自由見学開始前 に記念写真を撮る。

途中プルメリアの花が咲いている木がある。しかも白とピンクの花が同じ木で咲いている。白い花、少し濃い目のピンクの花を入手し、髪や帽子に飾る人もでる。







No.15/第13回 2009.03.07 晴 吉祥寺・三鷹 山崎、川口 三鷹駅 - 禅林寺 - 太宰治文学サロン - 玉川上水風の道 - 山本有三記念館 - 井の頭自然文化園 - まことちゃんハウス - 吉祥寺駅前ハモニカ横丁 →清龍

以上の行程で約3時間位です。丁度、武蔵野市と三鷹市の境を歩くこととなります。参加者は、15名でした。

前日の雨、風が嘘のような好天に 恵まれ、春の息吹を感じながら散 策が出来て、ホッとしました。

禅林寺(太宰治墓、森鴎外墓、鴎外 遺言碑等)



山本有三記念館





森鴎外の墓



噂の楳図かずお邸へ(まことちゃんハウスの彫刻館とアトリエ)



No.16/番外03 2009.03.25 曇 六義園の枝垂れ桜伊藤、吉田 六義園・枝垂れ桜 - 園内散策 (MWパーティ) →庄や

No.17/第14回 2009.05.23 曇 染井まちあるき 荻原 巣鴨駅 - 真性寺 - 高岩寺(とげ抜き地蔵) - 妙行寺 - 盛雲寺 - 本妙寺 - 染井霊園 - 慈眼寺 - 西福寺 - 染井稲荷神社 - 染井 温泉さくら →三浦屋

今回の目玉は、染井の桜見学ではなく、地蔵通りの高岩寺、お岩さんの妙行寺、遠山の金さんの本妙寺、染井霊園等の9つのお寺・神社めぐり。夕方、巣鴨温泉にゆっくり浸り、軽くビールで喉を潤す。温泉から参加する人もありました。

夜はスッポン料理でエネルギー補充をし、喉の渇きを癒しながらの楽しい会話は9時半まで続きました。



No.18/番外編04 2009.06.13 晴 歩かないまち歩き 神田川クルーズ 横山

勝鬨マリーナー(隅田川)ー(神田川)ー柳橋-万世橋-昌平橋-聖橋-御茶の水橋-水道橋-三崎橋-(上陸休憩)-俎橋-一ツ橋-神田橋-日本橋-豊海橋-(隅田川)-勝鬨マリーナ →月島もんじゃ焼き・はざま2号店

No.19/番外05 2009.08.02 晴 歩かない街歩き 川口 押上駅-スカイツリー工事現場-温泉銭湯「泉湯」→ザ:テラス No.20/第15回 2009.08.08 晴 王子界隈まち歩き岩瀬 王子駅 - 久寿餅さん - 王子稲荷神社 - 名主の滝 - 飛鳥山のケーブルカー (見学だけ) - お風呂屋さん - 王子神社 →王子駅近く 参加者は、15名でした。

豪雨の合間の盛夏も盛夏、暑い時期、 長時間の散策は熱中症の心配の流の ので、音無川周辺と名主の滝の水辺 で楽しみました。江戸の行楽地、飛 鳥山の麓に流れる音無川(石神井 場に流れる音無川(古さは素 時代、渓谷の川が流れ落ち、 時の綺麗な川の水で点てたお茶は最 高であったそうです。



名主の滝 入り口

予定の見学は終わったので、暑気払いの開始時間を早めにしてもらい、 少し離れた風呂屋に向かっていく。渋沢資料館の前の「えびす湯」で.. 450円を払って、17:10まで.. 40分ほどゆっくりと汗を流す。





飲んだ後、みんなで立寄った王子神社境内の盆踊り、 提灯の明かりに郷愁と夏の 風情を味わいました。 また、桜の季節に歩いてみ たいです。



No.21/第16回 2009.10.24 小雨 赤坂の坂 まち歩き 荻原 赤坂見附駅 - 九郎九坂 - 弾正坂 - 豊川稲荷 - 牛鳴き坂 - 薬研坂 - 三分坂 - 報土寺 - 勝海舟居住跡 - 本氷川坂 - 氷川神社 - 南部坂 - 氷川坂 - 転坂 - 氷川公園 - 赤坂サカス →ベルギー料理 参加者は、おそらく過去最大の参加者24名で、新規参加者も数名。

- ●アカサカサカスってどこから命名されたかご存知ですか?
- ○全くわかりません。
- ●最後の「S」を取ると、 ローマ字読みで「AKASAKA SAKA」と逆から読んでも同 じになります。

又、サカスは「サーカス」 と掛けてあると言う説もあ ります。でも「赤坂 坂's」 と読めば、今回の街歩きに ピッタリではありません か!



『豊川稲荷』



ブルーの線は坂を現しています。 赤丸は歴史的場所を示しています。 緑は自然に関するものです。

赤坂と言えば、ファッショナブルで賑やかなところ・・が普通の印象。 今回はそれとは異なった別の顔を知りました。昔ながらの坂の道筋、一 方お屋敷はマンションに、坂の下の密集地は再開発され超高層に、雷電 の手形の大きさに驚き、氷川神社の数百年の巨木群を見上げ、坂を下る と先端的な都市空間アカサカサカス、そしていつもの一ツ木通りの賑わ い・・過去と未来、落ち着いた住宅地と刺激的な商業空間、変わらぬ伝 統と変化のスピード、何もかもがごった煮になった印象を受けました。12 No.22/第17回 2009.12.19 晴 神楽坂・・歴史の小道をぶらり 笠井 牛込御門跡-外堀揚場-神楽坂の路地-牛込住宅地、最高裁長官公邸、宮城 道雄記念館、新暦調御用所(天文屋敷)跡、光照寺-地蔵坂、袖摺坂、尾 崎紅葉旧居跡、円福寺-赤城神社、筑土八幡神社-瓢箪坂、築土八幡神社、 料亭街、露地、石畳、毘沙門天 →忘年会 参加者は、26名でした。

新旧のお店、三業地(クリックで説明あり)から高級住宅地まで、文学から宗教まで・・いろいろな顔を併せ持ち、歴史と懐かしさをヒューマンな世界で感じ取れる神楽坂・・懐の深い、発見の多いまちです。





外堀揚場から外堀通りの反対側に渡る。入り口は意識しないとわからない二階建て雑居飲み屋街の階段を登り、まだ開いていないお店を見学しながら神楽坂の路地に降りていく。





忘年会では、今年の新加入の人をはじめ各自自己紹介をしながら、会話とお酒を楽しむ。8時には最後まで残っていた23人での記念写真を撮る。



No.23/番外編06 2010.2.19 \sim 2.21 晴 別府温泉&道頓堀であそ歩 柴田世界有数の温泉リゾートが、なぜ衰退したか、その足跡をたどる。その別府には瀬戸内を航海するフェリーで。出港地の大阪道頓堀もついでにあそ歩(ぼ)

2月19日道頓堀お好み焼「美津の」で夕食

18:10頃に大阪を楽しんだ12名は、トレードセンター前に着く。しかし、まだ残りの3名が着かない。30分前になっても来ない。携帯で連絡を取るとそばに来ているがフェリーターミナルが分からず、30分近く周辺をタクシーに乗ったまま探し回っているという。あれほど電車で来るように言ったのに!





2月20日土曜晴れ フェリーでないと味 わえないこの景観・別府の全景!別府の 背後の山・鶴見岳の景観は独特です。



堀田(ほりた)温泉、明礬温泉(本 日3度目のお風呂は砂湯だ)、別府 温泉、浜脇温泉から竹瓦温泉で昼食。 鉄輪(かんなわ)温泉宿泊。



2月21日 田田曜晴れ 地獄めぐりを楽し み、湯けむり展望 台で別府の湯煙を じっくりと楽しむ。 大分空港から東京



No.24/第18回 2010.3.27 曇り 飛鳥山・染井・六義園 桜めぐり 小林(偉) 王子駅→音無親水公園と音無川沿いの桜鑑賞→飛鳥山の桜鑑賞→渋沢庭園→勝林寺→染井霊園の桜鑑賞→東京染井温泉サクラ→染井吉野桜記念公園→六義園の枝垂桜鑑賞(夜桜見学) →スペイン料理のレストランで懇親会。







桜を愛でながらワインとパンを楽しみましょうとの趣旨もあります。趣の異なる桜・サクラには、違った味のワインが楽しめるかも。音無親水公園の桜、飛鳥山の桜。

染井の桜鑑賞というよりも、「サクラ」と言う名前の温泉を楽しむことに変わってしまいました。約1時間弱のリラックス時間でした。



最後は六義園の枝垂れ桜のライトアップの見学。





No.25/第19回 2010.5.22 晴 王子から石神井川に沿って板橋へ 小林(俊) 王子駅→音無橋→正受院→石神井川蛇行跡(1)→紅葉寺(金剛寺)→石神 井川蛇行跡(2)→四本木稲荷神社境内→寿徳寺→埼京線脇の排水口→金沢 橋→野口研究所(爆薬研究所)→東板橋体育館敷地内→北園高校→新旧中 仙道交差点→千川上水跡→近藤勇の墓→JR板橋駅前解散→有志は中華料 理のレストランで懇親会

事前レクチャ:敗戦時まで板橋・王子・赤羽・十条一帯に広大な敷地を持つ陸軍第二造兵廠がありました。その起源は東板橋体育館敷地内に見ることができます。説明文によるとと戸幕府の命で石神井川の水力を利用した火薬製造設備を導入すべらとコースの水が造された使節が帰国したら世は既に明治となっていた。施設はそのまま明治政府に移管され、その後打ち続く戦争で周辺に広大造政の周辺も被害を受けた。前に参拝した王子権現もその例で、境の敷地は一時 GHQに移管され(本部ビルには星条旗が掲げてありました)、その後公園(例:城北中央公園)や運動施設(例:西ヶ丘サッカー場)、教育施設(例:帝京大学高校、家政大学、成徳短大)、病院(例:愛誠病院)、各種養護施設、自衛隊十条基地などに平和利用されている。

四本木稲荷神社境内 火薬製造用石臼(No.1) 緑発事故により石臼は破壊されてしまったが、それを加工して被害者鎮魂のための慰霊碑とした。





野口研究所(爆薬研究所):爆弾射撃ターゲット跡。コンクリート製。(写真) 野口研究所は、昭和16年(1941)、旧日窒コンツェルンの創始者で日本窒素肥料株式会社社長野口遵(したがう、1873~1944)氏が、私財2,500万円(現在の価値で約250億円)を拠出して、化学工業を調査研究するために創設した研究所を母体としています。 16 No.26/第20回 2010.7.24 晴 都電によるまち歩き 梅島 早稲田駅→鬼子母神→雑司が谷霊園→荒川車庫→荒川遊園地→三ノ輪橋 駅→銭湯→懇親会(町屋駅前)

新宿区の早稲田駅から荒川区の三ノ輪橋駅まで都電を足にして、猛暑の中を熱中症を気にしながら、まち歩きをしました。4時間ほど掛けてゆっくりと新宿区、豊島区、北区、荒川区の都電周辺の見学を楽しみました。

都電早稲田駅に2時集合。



都電一日乗車券都電荒川線乗り降り自由を400円で購入。







都電で以下を楽しむ。

- 1)鬼子母神(「きしもじん」と呼ばれている)
- 2) 雑司が谷霊園
- 3) 荒川車庫「都電おもいで広場」
- 4) あらかわ遊園地
- 5) 三ノ輪橋
- 6) 銭湯





鬼子母神堂の額の4文字 「鬼子母神」の「鬼」の 角がない4文字となってい る。言われて気がつく。





No.27/第21回 2010.11.6 晴 隠された庭園とジャズが似合う六本木 松木・吉田・柴田

表参道交差点~根津美術館(新装)~青山霊園を通り抜け(後藤新平の墓に詣でて)~乃木邸・乃木神社~新美術館~毛利庭園(ヒルズ)~檜町公園(ミッドタウンガーデン隣)~ライブ鑑賞と懇親 六本木庭園巡りと85周年仲間の富樫さん5周年ライブを楽しみました。

「青山霊園」:目的としているのは伊藤長七とゆかりのある後藤新平の墓に詣でることだが、な員でか見つけることができず、全員での捜査が開始された。3時半から20分ほどかかってしまった。かっと一種イ5号にて発見。小さな林に囲まれていました。



<解説>自由主義的な教育思想を持ち、1919年に後藤新平や沢柳政太郎によって東京府立第五中学校(現・東京都立小石川中等教育学校)の初代校長に抜擢されると、「立志・開拓・創作」の校是や理化学重視の教育を打ち立て、府立五中の創始者として基礎を築いた。大正7年1918には後藤新平総裁の軽井沢夏期大学創立に尽力。夏期大学は当時気鋭の学者を招き様々なテーマで講義をしてもらうもので、受講者は圧倒的に若者であった。長七は開校式の祝辞で「民衆のための大学、否、民衆が自ら創作するところの大学、というものを考えねばならない時代が到来した」と述べている。五中校長時代、長七は年十数回、東郷平八郎、後藤新平、沢柳政太郎、吉岡弥生ら超一流の人物を招き生徒に講演を聴かせたことにつながっていく。



サテンドールでのライブ鑑賞:18: 00にサテンドールに着き、席に着き 19:00の開演を待つ。 本日の出演者: 冨樫勝彦(ボーカ ル)with Mio坂口(ピアノ)、中孝 弘(ベース)、野口迪生(ドラム)、 ゲスト 佐藤春樹(トロンボーン)。 No.28/第22回 2010.12.4 晴 築地市場巡りと真っ昼間の忘年会 俵・山崎場内(東京都中央卸売市場)見学〜場内魚がし横丁〜築地場外市場〜築地本願寺〜「すしざんまい」での昼間の忘年会〜銀座歩行者天国〜有楽町駅そばでカラオケ 参加者:13名(懇親会..15名)

夜の集まりはありきたり、それでは真っ昼間にしよう・・と の発想で、築地市場巡りと寿司やで忘年会を楽しみました。

①場内(東京都中央卸売市場)見学



途中でマグロが食べたい と言う人もいて、500円 のマグロのぶつきりが 売られているので、

5人で一人100円ずつ出して購入決定。はし、醤油、わさびなど一式ももらって、買い食いが始まる。少し硬めでおいしく食べることができた。

②場内魚がし横丁



4)築地本願寺



③築地場外市場



⑤「すしざんまい」で昼間の忘年会



No.29/番外編07 2011.2.18 ~ 2.20 雨 海外編第二弾 台北のまち歩き~ 夢中になって食べる 伊藤

2.18 羽田 - 台北松山空港 - (ホテル) - お茶屋 - 中正記念堂 - 迪化街 - 夕食 (楽しみ1) - K T V

- 2.19 国立故宮博物院 昼食(楽しみ2) 九份 夕食(楽しみ3)
- 2.20 龍山寺 昼食(楽しみ4) 行天宮 松山空港 羽田

2泊3日、週末利用での台北のまち歩き。 平成20年11月の番外2回目のアモイ対岸にある台湾台北です。 今回は食べるぞとの意気込みで15名、途中から1名追加参加で最終16名でした。 残念ながら晴れ女、晴れ男が多いと言っていたのですが、更に強力な雨 x x がいたようです。











それにしてもよく食べました。どのお店も最高でした。初めての台湾は充実していました。幅広く彼の地の社会文化に触れた気がします。ホテルも居心地良く、くつろぎました。











中正記念堂



九份阿妹茶酒館



ホテルのロビーで 記念写真



No.30/第23回 2011.4.2 晴 目黒川とお花見 横山・柴田 品川インターシティーを抜け、北品川方向へ〜運河の屋形船見学〜鯨塚・利田神社〜旧東海道品川宿〜天王洲アイル周辺の公園でお昼〜目黒川沿いに荏原神社〜東海禅寺〜大崎駅〜電車で目黒駅に移動〜目黒川沿いの桜見学→代官山アマポーラで打ち上げ

予定していた目黒川桜クルーズは、大地震のため中止。仲間はめげずに目黒川沿いのまち歩きにすばやく変更。 集まる人もほとんど変わらず。心配は桜が咲いているかでし

たが。











天王洲アイル周辺の公園でお昼 集合写真



目黒川沿いの桜見学



No.31/第24回 2011.6.4 晴 水と食料の道、練馬 吉川(嘉)・金澤 練馬駅集合~唐澤博物館見学~練馬白山神社と大けやき~広徳寺~高 稲荷神社、高稲荷公園~氷川神社~桜台付近~清戸道・千川通り~武 蔵野稲荷神社~浅間神社~日大芸術学部~備中家で打上げ

縄文人が住み、中世武人が居城とし、のび太とドラえもんの遊ぶ町、練馬区東南部が今回のまち歩き。 その前に伊藤長七にも関心をもたれた唐澤富太郎の私設の唐澤博物館も見学。

本日のまち歩きの舞台、練馬区の歴史について一口ガイドを。 練馬に人が住み始めたのは、およそ 1万 5000年前の先土器時代から。区 内のあちこちから遺跡が発見されている。14世紀半ばごろ、荒川河口に 勢力をもった豊島氏が石神井川に沿って領地を広げ、やがて練馬城や石 神井城を築いた。以後文明 9年(1477)に太田道灌に敗れるまで、豊島 氏の支配が続いた。その後は太田氏、さらには北条氏の勢力下に置かれ た。江戸時代の練馬は、ダイコン、ゴボウ、イモなどを江戸市中に供給 する一大近郊農村として発展した。明治 11年(1878)の「郡区町村編成 法」により、練馬の大部分は北豊島郡に編入され、大正 12年(1923)の 関東大震災後、都心部から練馬の人口流入が始まった。昭和 7(1932) に東京市は 35区制となり、練馬は板橋区に編入された。昭和 22年 (1947)に板橋区から独立。23番目の特別区として練馬区が誕生した。



武蔵大学前の武蔵野稲荷神社を先に見学。5時には門を閉めるようだ。少し派手な色彩を持つ小さな神社でした。ここで全員の記念写真を撮る。





No.32/第25回 2011.7.30 晴 スカイツリー・クルージング &佃島・月島 笠井・横山

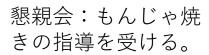
月島係留場〜小名木川〜扇橋閘門(船のエレベーター)〜横十間川〜北十間川〜東京スカイツリー近辺の往復 & 月島駅集合〜佃天台地蔵尊〜佃煮を購入〜住吉神社〜石川島灯台跡〜石川島公園のパリ広場〜月島もんじゃ焼き〜

天候に泣かされ 2回中止、今回三度目の正直でスカイツリークルージング実現。懐かしい江戸のなごりを感じ取りながら、最先端技術の 634mのスカイツリーを楽しむ。その後、佃島と月島のまち歩き。











横十間川に少し 入ったところで、 船長にお願いし て全員の記念写 真を撮る。



No.33/第26回 2011.10.22 曇 紀尾井町・永田町 & 赤坂でのジャズライブ 柴田

四ッ谷駅〜迎賓館・赤坂離宮〜ニューオータニ日本庭園〜弁慶橋〜国会図書館前〜憲政記念館と国会前庭・北と南〜日比谷高校〜山王日枝神社、 →赤坂ジャズライブ会場

創作展・長七展が終わりほっとしているところ、仲間の7周年記念公演も近づいて来た。そこで、今回は秋の最も気持ちの良い一時を、赤坂を囲う紀尾井町・永田町の丘の上、公園・庭園巡りで過ごし、締めは、赤坂でジャズの夕べです。

<冨樫さん7周年記念ジャズライブ>







皇居をバックに全員の記念写真



No.34/第27回 2011.12.3 晴 スカイツリーと押上・向島・浅草 川口・柴田

押上駅~スカイツリー周辺~ 北十間川沿いに橋めぐり~向島~桜橋~墨田公園~浅草界隈~浅草寺~ 雷門

2011年最後のまち歩きは、完成間近のスカイツリーを見上げながらの下町めぐり。当日の天気予報は、曇時々雨でしたが、今まで日頃の行いの良さ(?)で雨のまち歩きは非常に少なかったので、回復すると期待したとおりに午前中の大雨にも負けず、午後には少し太陽も見ることができる日和でした。 忘年会はふぐ料理が楽しみです。













墨田公園には牛嶋神社があり、しばらく 見学。本殿前には全国的に珍しいといわれる三輪鳥居(三つ鳥居)と狛犬でなく 「狛牛」があります。撫で牛も各自修理 したい体の部署をなでる。



No.35/第28回 2012. 2.4 快晴 花と海を楽しむ 湘南の二宮・大磯 松木・小林(偉)

二宮駅~二宮吾妻山・昼食~二宮駅 - 大磯駅~藤村の墓~鴫立庵~東 海道松並木~こゆるぎの浜~照ケ崎~大磯港めしや・懇親会~大磯駅

2012年最初のまち歩きは、昨年台風のために中止された湘南の二宮と大磯まち歩きです。1月から2月にかけて二宮の吾妻山の菜の花がテレビなどでも放映されているので、菜の花見学を含み、ひょっとしたら富士山も見えるのではないかと企画されたまち歩きです。当日の天気予報は、晴れ。日頃の行いの良さでしょうか、春の初めのころの暖かさの中、富士山も見え、まち歩きに最高の日となりました。それでは、二宮と大磯のまち歩きを楽しんでください。懇親会は「めしや大磯港」で獲れたての魚料理が楽しみです。







東海道松並木



島崎藤村の墓(地福寺)



こゆるぎの浜



No.36/第29回 2012.4.7 晴 いにしえと桜を訪ねて板橋 その2 小林(俊)・吉川(嘉)

小竹向原駅〜根ノ上遺跡〜茂呂遺跡〜栗原遺跡〜都立城北公園、 旧川 越街道〜下頭橋と六蔵祠〜向屋敷遊園地跡の水神様〜旧中山道〜板橋〜 仲宿〜脇本陣跡〜文殊院 遊女の墓〜本陣跡〜王子新道

T君が小学生から中学生にかけて近所の幼馴染と走りまわって遊んだり、ちょっぴり足を伸ばして冒険したり、まるで「しろばんば」の洪作のように過ごした世界を紹介します。4月7日は、さくら見ごろ予想にぴったり当たるようです。「お天気になりますように」との期待で開催されました。少し肌寒い感じでしたが、さくらの花には歓迎されました。

石神井川に沿ってのお花見-旧川越街道から旧中山道まで







復元された板橋。日本橋から二里二十五町の標識の前で集合写真



No.37/番外編08 2012.5.31~ 6.3 海外編第三弾 瀋陽 長春 ハルビン

- 5.31 成田→瀋陽市内観光、夜新幹線でハルビンへ
- 6.1 ハルビン市内観光、新幹線で長春へ
- 6.2 長春市内観光、新幹線で瀋陽へ
- 6.3 瀋陽故宮博物院 帰国

中国東北3省の省都(遼 寧省瀋陽、吉林省長春、 黒龍江省哈爾濱)を訪ね る、参加者7名の旅です。

まち歩き番外編

瀋陽長春ハルビン

中国東北地方を行く: 3泊4日



2012. 5. 31-6. 3





遼寧賓館 (旧ヤマトホテル)

ハルビン市俄羅斯 風情小鎮(ロシア 風情小鎮)





瀋陽駅での経験

大雨のため水がたまり通れないようだ。はだしになって手に靴と靴下を持って水の中を進んでいる。改札口に着いたが、外も大混雑。雷と稲妻、さらに強い雨が降り、道路が水に浸かってこれで歩ったがある。また大丈夫だろう。このではしたなり、スリッパを履く。28

No.38/第30回 2012.6.23 歩かないまち歩き 小名木川クルーズ 横山勝どきマリーナ→いくつかの運河を巡って夢の島マリーナ上陸(昼食・休憩30分)→荒川→荒川ロックゲート→小名木川→扇橋閘門→墨田川→勝どきマリーナ

NPO「あそんで学ぶ環境と科学倶楽部」の「都心の水辺でエコツアー」。2009年6月の「神田川・日本橋川」コースに引き続き、今回は「小名木川」コース。江戸時代の物流の主力運河として開削された小名木川を通して、東京を見直すコースです。

本日のコースは当日のGPSによれば次の通り。



夢の島で昼食





無事帰還 途中川へ落ちる人もなく、無事にマリーナへ。ここで1名が帰り、残る9名は魚河岸へと向かいました。仲間との楽しい語らい。水を通しての日々についての反省等有意義なひとときを過ごすことができました。世話人さんへ感謝。

No.39/第31回 2012.8.11 曇浜松 町・芝・大門 笠井 浜松町駅北口→竹芝桟橋→旧芝離宮恩賜庭園→福沢・近藤両翁学塾跡→ 御成門→増上寺→徳川家霊廟→増上寺旧方丈門(黒門)→旧台徳院霊廟 惣門→芝東照宮→伊能忠敬記念碑→増上寺鐘楼堂→大門→ふれあいの湯 →懇親会→カラオケ

芝は、浅草・神田と威勢のよさを競った下町だった。品川から新橋にかけて、明治時代の海岸線はちょうど今の山手線の線路と一致する。浜松町駅周辺は、それこそ浜辺の松原で、東京湾の波が打ち寄せていた。その面影を求めてのまち歩き。

旧芝離宮恩賜庭園









ふれあいの湯 将藍橋のたもとの銭湯、わいわい と入っていきました。港区立公衆 浴場で、入湯料450円。女性2 階、男性3階。ビル形式の銭湯。 大変混雑している。



No.40/第32回 2012. 9.29 曇 大塚界隈 吉川(嘉)

護国寺山門→護国寺境内→雑司ヶ谷霊園→都電荒川線にて雑司ヶ谷より向原へ→巣鴨プリズン跡→空蝉橋(スカイツリー見学)→大塚台公園→大塚三業地→天祖神社→懇親会

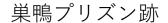
大塚駅のそばには、戦前白木屋デパート(分店)があったとか、 現在も細々と営業している三業地があったり、千成最中や天祖 神社でにぎわうこじんまりした商店街、今も現役の都電が走り、 昔は大塚車庫もあったなと、懐かしい思いで沢山の場所でした。 今回は護国寺境内を寺僧の説明付きで案内してもらえるので、 興味多く、期待できる大塚界隈まち歩きの始まりです。



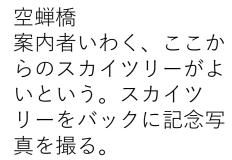
護国寺観音堂

観音堂(本堂)に靴を脱いで入る。 堂内は撮影禁止。広い。500畳あるそうだ。ご本尊の如意輪観世音菩薩の前の畳に、直接座ったり、いすに座ったりして、貫録のある別の高僧の話を聞く。

都電荒川線にて雑司ヶ谷より向原へ









No.41/第33回 2012.11.3 快晴 迎賓館・清水谷・赤坂・六本木 萩原四ツ谷駅赤坂□→迎賓館→紀之国坂→紀尾井坂→清水谷公園→諏訪坂→赤坂見附跡→豊川稲荷→虎屋本店→高橋是清翁記念公園→外苑東通り→乃木坂→東京ミッドタウン→六本木サテンドール

今回は、迎賓館赤坂離宮の前庭公開を始点、冨樫勝彦氏のコンサートを終点として四ツ谷から六本木までを歩きました。 迎賓館見学は、迎賓館のボランティア説明員をしている荻原氏の説明で、面白く見学できました。

迎賓館
11/1~11/3は迎賓
館前庭の一般公開日。今日は祝日とあって見ずる。 行りの でした。



正門をバックに記念写真。





No.42/第34回 2012.12.8 快晴 世田谷線の沿線巡り 脇田・松木 三軒茶屋・大山道標〜三軒茶屋駅→松陰神社前〜松陰神社〜松陰神社前 →上町〜代官屋敷・ボロ市通り〜世田谷城址公園〜豪徳寺〜烏山川緑道 〜世田谷八幡宮〜宮の坂駅→三軒茶屋駅、キャロットタワー。三軒茶屋 駅前「流庵」にて忘年会

世話人からこんなメールでまち歩きが始まりました。いよいよ師走。お天気に恵まれ、紅葉もなんとかもってくれるといいですね。豪徳寺のもみじが特に素晴らしいですよ。ただしこの時期、日没時刻が1年中で一番早いです(東京16:28)。なんと冬至の頃よりも早いのです。最後の世田谷八幡では足元が危なくなるかもしれませんので、万一のため、有志の方は懐中電灯を持参してくださると有り難いです。ということで世田谷の沿線巡りのまち歩きと忘年会が始まりました。

世田谷城址公園(都史跡) 空堀と土塁はなかなかのもの。ここで全員の記念写真を撮る。



豪徳寺(曹洞宗)



宮の坂駅に昔の玉電の 車両が展示されていて 中に入る。決して貸切 ではありません。



No.43/第35回 2013.2.23 晴 山手線の歴史をたどる - その1 高橋・ 広瀬

田端駅南口 → 田端駅北口 → 田端ふれあい橋・新田端大橋 → 東台橋・童橋 → 田端跨線線路橋 → 道灌山トンネルの跡 → 中里隧道 → 北区リサイクルセンター → 中里第二踏切 → 第一踏切跡 → 中里用水架道橋 → 駒込駅 → 染井橋 → 巣鴨駅、電車で大塚駅に移動

今回はこれまでのまち歩きとは一風変わった内容で、大正や昭和初期に発行された地図を見ながら、山手線の駅や線路のガードを見て歩くというもの。約一世紀前のわれわれが生まれる前の時代であっても、地図をよく見ると、今とは違う当時の様子が伺える。 単線から複線、複々線化に伴う変化や、環状運転開始時に6両で始まった電車が11両編成まで増加したことによるホームの成長など、山手線に関係する様々な歴史のほかに街の変化にも注目する。









中里第切がうとがこはったのでは、いいのでは、とがこはいいでででは、とれているのでででは、といるのがでは、といるのがでは、といるのがでは、といるのがでは、といるのがでは、といるのでは、というでは、というでは、

No.44/第36回 2013.4.6 曇/小雨 落合駅から 小滝橋・下落合・目白を経て池袋まで 松木・柴田

落合駅→小滝橋→せせらぎの里公園→薬王院→野鳥の森公園→中村彝アトリエ記念館→お留山公園→目白近衛町界隈→宮崎邸(柳原白蓮と宮崎龍介の結婚後の住居、今はその家族が住む)→自由学園明日館→立教大学キャンパス→江戸川乱歩記念館→池袋→懇親会

小滝橋から神田川沿いのお花見が当初の目的。今年は開花が早すぎて残りの桜を尋ねる結果に。

集合は落合駅。



小滝橋 満開時の桜は荘厳。人出が少ない 超穴場。 今回は時期を外し、残念だった。







No.45/第37回 2013.5.18 晴 皇居・丸の内界隈 荻原・川口・梅島 1)平川門→二の丸庭園→汐見坂を登って天守台へ→天守台→富士見櫓→ 大手休憩所→大手門、

- 2) 平将門首塚→東京銀行協会ビル前→日本工業倶楽部会館前→東京駅 「北ドーム」→東京ステーションホテル→「南ドーム」、
- 3) 東京中央郵便局→明治安田生命保険ビル→三菱一号館→東京国際フォーラム、ガラス棟内スロープや架け橋散策、
- 4) 打ち上げ 成城クラブ

新緑溢れる春、さわやかな風を楽しみながら、皇居東御苑の散策、歴史を感じさせる丸の内界隈の建物見学、 昔風に改修された東京駅と東京ステーションホテルや東京国際フォーラムガラス棟の見学・まち歩きを楽しむ。

二の丸庭園











No.46/第38回 2013.6.22 曇/晴 川の跡 - その 1 本郷菊坂 東大下水の支流 高橋

本郷三丁目駅 → 別れの橋跡 → 金魚坂 → 本妙寺坂 → 下水の跡と階段 → 長泉寺 → 炭団坂 → 一葉の井戸 → 鐙坂 → 合流地点 → 胸突坂 → 梨木坂 → 菊水湯で入浴 → 清和公園で休憩 → 新富坂 → 旧東富坂および現東富 坂 → 春日稲荷 → 新坂(外記坂) → 旧壱岐殿坂 → 金比羅宮 → 懇親会会場

今回は 2月に山手線巡りを始めた案内人 019 高橋さんの新シリーズ。これまでのまち歩きとは違って、川の跡というテーマに絞って、明治や大正、昭和初期に発行された地図を見ながら歩くというもの。川の跡を歩くと、両側には坂も多い。

菊坂通りに入る。菊坂は、谷の一番深いところよりもやや上方を通っていて、谷底にはかつて小川が流れていたという。 の後の流れと生活排水であった小川は、江戸時代には「東大下水(ひがし・おおげすい)」と呼ばれていたそうだ。



樋口一葉の井戸



菊水湯で休憩。明治中頃の創業で、現在でも井戸水を使っているそうだ。 料金450円。約30分間の入浴を楽しむ。



No.47/第39回 2013.8.17 晴/曇 品川 今昔 笠井 品川駅 → 八ツ山橋 → 旧東海道 土蔵相模 → 品川本陣跡 → 品川 橋(目黒川) → 天妙国寺 → 池上通り交差点 → 品川寺 → 川まで 戻って、江原神社→ 東海橋 → 山手通りを西へ → 東海禅寺大山 墓地 → 山手通りを戻って、品川神社 → 懇親会会場 : 品川港南 口

宿場町であり漁師町でもあった品川。その昔、江戸から西国へと旅立つ人は、最初の宿場である品川で見送りの家族・知人と宴を催し、別れを惜しんだ。 反対に西国から上って来た旅人は、品川で身支度を整え、それぞれの訪問先へ向かったそうだ。品川宿は東海道沿いに細長く延び、目黒川に架かる「中の橋」を境に、北品川宿と南品川宿に分かれていた。道の両側には旅籠が軒を並べ、吉原と張り合うほどの遊郭もあったという。

品川宿本陣跡で集合写真



そろそろ夕暮れが近づいてきたので、品川駅 港南口の打ち上げ会場に向かい、中華料理のオーダーバイキング&飲み放題。 おいしいビールで乾杯した。

品川神社





No.48/番外編09 2013.10.11~10.12 晴/曇/晴 古都 奈良 一日目: 東京駅→京都経由→奈良駅→白毫寺→新薬師寺→な

らまち見学→興福寺→近鉄奈良駅

二日目: 奈良→柳本→黒塚遺跡→長岳寺→崇神陵→景行天皇陵 →箸墓古墳→ホケノ山古墳→檜原神社→大神神社→安倍文殊院

→奈良 三日目: ①法隆寺、②浄瑠璃寺→東大寺→JR奈良駅→京都経 由 → 東京

今回の奈良のまち歩きは、半世紀ぶりに中学の修学旅行を思い出 した人が多かったと思います。秋のなかをひたすら歩いた「山の辺 の道」は、懐かしいこころのふるさとのようなところでした。

興福寺



昼食は手打ちそばの「大喜多」



大神(おおみわ)神社



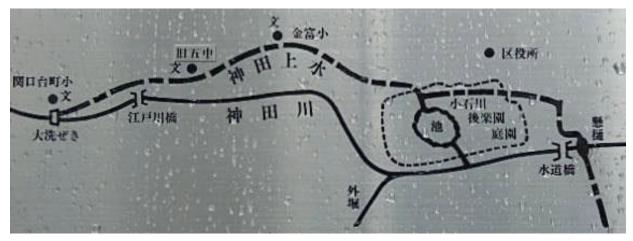




No.49/第40回 2013.10.26 雨/曇 川の跡 - その 2 神田上水高橋・廣瀬

江戸川公園 取水跡地 → 旧 文京 5 中跡 → 安藤坂下 → 小石川後 楽園 (神田上水跡などの散策) → 水道橋→ 神田上水の懸樋跡 → 本郷給水所公苑 → 東京都水道歴史館→ 丸ノ内線 本郷三丁目 駅→ 地下鉄で六本木に移動 → サテンドール

案内人 019 高橋さんの「川の跡シリーズ」 第2回。爆発的 に人口 が増加 する江戸の初期に、飲料水をどう確保したか?神田上水のルートを辿り、ルーツを理解する まち歩きでした。



円月橋は朱舜水の設計と指導により、名工「駒橋嘉兵衛」が 造ったもので、橋が水面に写って 満月になる。





No.50/第41回 2013.12.14 晴 両国と忘年会 討ち入りを偲んで 山崎・柴田

清澄庭園 → 小名木川(深川萬年橋) → 八名川小学校・公園 → 千歳橋 → 両国小学校・公園(勝海舟生誕地) → 吉良邸跡 = 元 禄市 → 回向院→旧安田庭園 → 慰霊祈念堂(横網町公園) → 忘年会会場 = 花の舞(旧両国駅駅舎跡)

冬晴れの今日12月14日は、赤穂義士の吉良邸討入の日。それにちなんで「まち歩き」は両国をゴールと目指して、清澄庭園からスタートしました。 吉良さんと大石さんが仲良く並んで

清澄庭園







No.51/第42回 2014.2.22 晴 山手線の歴史をたどる - その 2 高橋

田端駅南口→間之坂架道橋→諏訪神社→諏訪坂架道橋→富士見坂→下御隠殿坂橋→紅葉坂橋→芋坂橋→御隠殿坂橋→京成電鉄跨線橋→京成電鉄トンネル→寛永寺坂駅跡→博物館動物園駅跡→上野動物園旧正門→上野東照宮→京成上野駅 (歩きはここまで)京成電車に乗って車窓から2つの廃駅を見る→京成日暮里駅東口→懇親会会場

一年前に初めて歩いた、田端 - 巣鴨間に続く山手線の歴史第二回目。今回は山手線と京成電車が半々の内容で、大正や昭和に発行された地図を見ながら、線路のガードや橋に加えて、トンネルを見て歩いた。タイトルは『山手線と京成線をつなぐ戦中秘話、京成線トンネル内に今も残る廃駅跡』

博物館動物園駅跡:1945年6月トンネルを防空壕として使うために接収、営業休止。現在でも2面(線路の両側)のホームその他は健在。



No.52/番外編10 2014.4.12~4.13 晴 近江三都物語 滋賀の

サクラを満喫 柴田夫妻・出口

一日目: 米原→長浜→五箇荘→近江八幡 →彦根 (宿泊)

二日目: 彦根城→中堀巡り屋形船→キャッスルロード→四

番町スクエア→足軽辻番所→ 芹川→彦根→米原 (解散)

今年の花見は "念願の"長浜・近江八幡・彦根の桜めぐりとなりました。 タイトルは、7・8世紀に近江にあった3つの都、大津宮・紫香楽宮・保良宮を指す「三都」にちなんで柴田さんが名付けていたものです。

長浜のまち歩き 街中の疎水と満開の桜





目の前にある彦根城のサクラは、 ホテルが「自前の投光器」でラ イトアップしていた。

堀に架かる橋を潜るために、屋形船の室内は天井が低い。





No.53/第43回 2014.5.17 晴 鎌倉 鎌倉幕府の歴史を探して 鷹取・伊賀・山崎

鎌倉駅→鶴ヶ岡八幡宮→大蔵幕府跡→頼朝墓→宝戒寺→若宮 大路幕府跡→宇都宮辻子(ずし)幕府跡→妙隆寺→東勝寺 跡・腹切りやぐら→大巧寺(だいぎょうじ)→鎌倉駅→(江ノ 電)長谷駅→長谷寺

懇親会: ドイツレストランの「シー キャッスル」

今回は、有名寺社の見学は最小限にとどめ、鎌倉幕府の在り方や興亡に影響を与えた場所を、何カ所か歩こうというものでした。

江ノ電で移動。よく晴れて 土曜休日なので大混雑。一 台待つしかなかった。長谷 駅に向かう。



大蔵幕府跡



いつものように よく飲んでしまったようで、ホワイトワインの冷えているものがなくなってしまった。 由比ヶ浜駅 か長谷駅 (江ノ電) で解散。



No.54/第44回 2014.7.12 晴 渋谷 裏渋谷の歴史を探して 笠井 渋谷駅 → センター街 → 宇田川町 → 松濤町 → 鍋島松濤公園 → 松濤美術館 → オーチャードホール → 百軒店 → 道玄坂 → 恋文横 丁 → 稲荷橋 → 金王八幡宮 → 白根記念渋谷区郷土博物館 → 氷川 神社 → 温故学会会館 → 広尾小学校 → 福昌寺 → 庚申橋→ 懇親会

その昔、「川一つ、丘五つ、谷二十」といわれた渋谷は、すり鉢のような地形をしている。渋谷駅がある場所は、その鉢底にあたるので、どこへ行くにも坂を上らなくてはならない。今回は、裏渋谷の歴史を探して歩こうというものでした。

2 · 2 6 事件慰霊像





温故学会会館 塙保己一畢生の大事業である「群書類従」の版木を管理する目的で、昭和2年に建てられた。





No.55/第45回 2014.9.27 曇 川越大正期の歴史を探して 今西 川越駅 (バス) → 喜多院 (仙波東照宮・喜多院書院・五百羅 漢) → (バス) 菓子屋横丁 → まつり会館 → 商人屋敷・時の鐘 → 八十五銀行 (埼玉りそな銀行川越支店)・山吉ビル → 蓮馨寺 → 中原町山車倉庫→ 若松屋 (懇親会)

城下町、蔵造り商家で知られる「小江戸」川越(埼玉県)の バスと徒歩でのまち歩きです。

川越といえば、「時の鐘」







No.56/第46回 2014.10.25 晴 川の跡 - その3谷端川・小石川 高橋・廣瀬

大塚 → 三業通り → 東福寺 → 猫叉橋 → 簸川神社・氷川坂 → 播磨坂・極楽水跡 → 吹上坂・宗慶寺 → 善仁寺 → 裏柳橋跡 →堀坂 → 文京区役所 → 丸ノ内線 架道橋 → ドームシティ → 神田川 → 地下鉄で六本木に移動 → サテンドール

大雨ごとに氾濫を繰り返していたため、昭和の早い時期に暗渠 化された「谷端川」。後半は小石川高校の名称の由来でもある 「小石川」と名を変える。

鴻池が分譲したという初期の住宅 地で文京区となる。 これ以降、 谷端川の名は小石川と呼ばれてい た。 川底に東京礫層の砂利が露 出していたためで、地名「小石 川」の起こりであり、小石川高校 の名の由来も、おお元はこの川に 由来する。

川名「小石川」→地名「小石川」 ←「小石川区」← 小石川高校」 つまり 今回のまち歩きは、小石川 高校の名のルーツを歩くものだっ たわけだ。







善仁寺のつるべ井戸

No.57/番外編11 2014.11.7~11.9 晴と雨 古都 奈良(第2回) 梅島

一日目: 東京駅→京都経由→橿原神宮駅 → 久米寺→橿原神宮→ 当麻寺→奈良国立博物館での正倉院展→人吉(懇親会)

二日目: 奈良 → 長谷寺 → 室生寺 → 多武峠と談山神社 → 奈良

で懇親会

三日目: 各自観光 > 平等院 > 萬福寺 > 京都駅周辺観光 > 新

幹線内で懇親会→東京

今回は、2度目の奈良のまち歩き。前回は少し歩きすぎたかなとの案内人の配慮がされたコース設定。

室生寺:女人禁制の高野山に対して、女人の入山が許されたことから「女人高野」と呼ばれ、これは室生寺の代名詞にも

なっている。典型的な山岳寺院。



多武峠と談山神社







No.58/第47回 2014.12.13 晴 ミュージアムを巡る 大熊 江戸川公園 → 新江戸川公園 → 永青文庫 → 文庫別館 → 東京カテドラル聖母マリア大聖堂 → 建築ミュージアム → 東洋文庫 ミュージアム → 懇親会

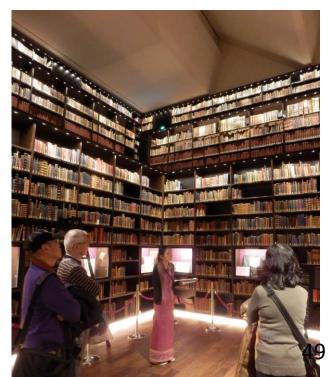
今回は比較的マニアックなミュージアム3館を訪れます。国宝の刀-伝えられた武士の心を展示する永青文庫から始まり、建築ミュージアムを経て、孔子から浮世絵までを蒐集した岩崎コレクションの東洋文庫ミュージアムをゆっくりと説明付で見学します。 永青文庫

今回は比較的マニアックな ミュージアム3館を訪れます。 国宝の刀ー伝えられた武士の心 を展示する永青文庫からは光 を展示する永アムを経て、 建築ミュージでを蒐集した岩 かレクションで東洋文崎 コレムをゆっくりと説明付で見 学します。



東洋文庫ミュージアム





建築ミュージアム

No.59/第48回 2015.2.14 まち歩き10周年記念 向島川口・吉田東武曳舟駅→京島→隅田川・桜橋→向島花街→鳩の街→地蔵坂→向島百花園→東向島(旧玉の井)→ 懇親会 魚喜代

第一回の「向島界隈:ディープな下町を歩く」に戻って、10年の移り変わりを見てみようという企画です。初めて向島をまち歩きする方、最初に歩いた方も10年前を思い出しながら、その様変わりしている所を見ると面白いかと思います。

墨田川沿いに北上 言問橋を過ぎ、墨田川沿いに北 上して桜橋(X型の歩専橋)に 向かう。













No.60/第49回 2015.4.4 曇/小雨 船からお花見 横山 東隅田川北上コース、(桜橋をくぐったところで船からお花 見)→朝潮小型船乗り場に戻る→門前仲町駅→深川不動堂→ 富岡八幡宮→ 懇親会

隅田川を船に乗ってゆっくりとお花見を楽しみ、その後、門前仲町界隈をまち歩き、深川不動堂、富岡八幡宮の参詣です。

船でのお花見 **&** 飲み会













No.61/第50回 2015.5.23 予定変更(初夏の箱根)中止 大熊箱根日帰りの予定だったが、大湧谷の状況を考えて中止とする。 代わりに駒場民芸館見学、残念会を開き、実施の回数に加えた。

No.62/第51回 2015.7.18 曇/小雨 玉川上水を歩く 市原 江戸東京たてもの園 → 玉川上水上流へ散策 → 平櫛田中彫刻美 術館見学 → さらに玉川上水上流へ散策 → ふれあい下水道館 → 鷹の台駅から 国分寺駅へ電車移動 → 懇親会

玉川上水の上流への緑豊かな散歩道をゆっくり歩きます。江戸 東京たてもの園や平櫛田中彫刻美術館も見学します。

江戸東京たてもの園 高橋是清邸





ふれあい下水道館前で集合写真

玉川上水上流へ散策





No.63/第52回 2015.9.26 薄曇 江の島を歩き尽くす 笠井 片瀬江ノ島駅前→弁天橋→弁財天仲見世通り→瑞心門、福石、 杉山検校の墓→辺津宮(へつみや)奉安殿→中津宮→奥津宮 →岩屋→山ふたつ→コッキング苑→児玉神社→湘南港大堤防 →懇親会

江の島の歴史、自然、更に磯の食べ物等満載の江の島を歩き 尽くすまち歩き。今回の目玉は、知る人ぞ知る穴場「磯料理 きむら」での打ち上げでの名物「金目鯛の煮付け」。

瑞心門



中津宮



岩屋









53

No.64/番外編12 2015.10.10~10.12 晴 古都 奈良(第3回) 梅島

一日目: 東京駅→京都経由→信貴山→郡山城跡とまち歩き

→ 懇親会

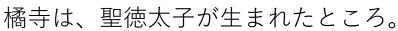
二日目: 飛鳥駅→電動自転車で飛鳥を見学→橿原神宮本殿特 別参拝 → 懇親会

三日目 : 唐招提寺 → 垂仁天皇陵 → 春日大社 → 鹿苑で鹿の角切

り→新幹線内で懇親会→東京

3度目の奈良のまち歩き。今回は、飛鳥をぜひとの要望にこた え、電動自転車での多くの名所見学が目玉。

信貴山

















No.65/第53回 2015.10.31 晴 川の跡-その4 谷端川上流部 小原・海野・高橋

大塚駅 → 板橋駅 → 谷端川緑道 → 川越街道 → 椎名町 → 熊谷守 一美術館 → 粟島神社(源流) → 有楽町線 千川駅 千川駅 → 霞ヶ関経由 六本木 サテンドール

小石川高校の名前の由来となった「小石川」、その上流の 「谷端川」跡を今回は、源流目指して歩きます。

この道路の下は暗渠で、谷端川が昔は流れていたと想像する。



赤羽線をくぐると 谷端川 緑道が始まる。地元からの 参加の人が説明してくれた。







No.66/第54回 2015.12.13 小雨・曇 早稲田劇場とその界隈を楽しむ 小林(偉)・柴田

漱石生誕地、夏目坂 と KOKURAYA → 大隈記念講堂、大隈庭園 → 演劇博物館見学(案内付) → 水稲荷神社 → 高田馬場跡 → 穴八幡神社 → 戸山公園 箱根山登山 → 懇親会

案内人の友人が坪内逍遥記念の演劇博物館で案内人をしているとのことで、今回のまち歩きが企画されました。

大隈庭園は、大隈会館の庭園として活用された。中国か韓国の雰囲気がある像がいくつかあった。





坪内逍遥胸像と握手を すると早稲田入学祈願 がかなうとか。





No.67/第55回 2016.1.23 曇 横浜ベイシティと中華街での 新年会 荻原 桜木町駅 → ランドマークタワー → ドックヤード → 日本丸メモ リアルパーク → 汽車道 → 赤レンガ倉庫 → 横浜税関〈クイー

ン〉→横浜市開港記念会館〈ジャック〉→神奈川県庁〈キン

グ〉→大桟橋→象の鼻パーク→山下公園→氷川丸→中華街

前日から大雪の予報があり、案内役は当日もひやひやでの開催 となりました。曇り空の中、少し寒かったが、元気に歩き始め ました。横浜ホテルニューグランドに開港157周年の横浜との 垂れ幕がありました。昔を探して赤レンガ倉庫や横浜の港関連 建物を巡るまち歩きとなりました。

横浜税関<クイーン>

朝陽門→北京焼鴨店【新年会】



「赤い靴をはいて いた女の子」の像。





横浜市開港記念館



神奈川県庁<キング>

大さん橋途中で集合写真を撮る。



No.68/第56回 2016.2.20 曇・雨 王子から赤羽崖線の上下を 歩く 倉林

王子駅 → 音無親水公園 → 王子神社 → 王子稲荷神社 → 名主の滝公園 → 地福寺 → 篠原演芸場 →十条銀座商店街 →清水坂公園 → 法真寺 → 香取神社 → 静勝寺 → 青猫書房 → 懇親会会場

普段は気が付かなかった、王子から赤羽に向けての崖線を見な がら、上り下りを体験できたまち歩きでした。

> 青猫書房:木造4階建て の白い建物。







No.69/第57回 2016.4.2 花曇り 都電荒川線沿線で桜めぐり 大熊・荻原

江戸川公園→新江戸川公園→目白台運動公園→日本女子大成瀬記念館(広岡浅子展)→雑司ケ谷鬼子母神→法明寺→(都電雑司ケ谷駅→都電庚申塚駅)→本妙寺→染井霊苑→染井稲荷→飛鳥山公園→懇親会会場

花曇りとお花見には絶好の天気でした。江戸川橋から飛鳥山まで、幾つの場所での桜を楽しむことができるかチャレンジです。

神田川両岸の桜が見事



目白台運動公園:桜の木の下に 集まって、途中で買い込んだワ インを楽しむ。



NHK朝の連続ドラマ'あさが来た'の主人公白岡あさのモデル広岡 浅子に関する展示を見学するため日本女子大の門をくぐる。 しかし、ビックリポンで、土曜 は午前中までの見学で、残念で した。





No.70/第58回 2016.5.28 晴・曇 初夏の箱根 ポーラ美術館と 日帰り温泉 大熊・冨樫

新宿発 ロマンスカー はこね 9 号 → 箱根湯本着 → ポーラ美術館 着 → レストラン・アレイで昼食 → ポーラ美術館鑑賞 → 遊歩道 散策 → (ポーラ美術館発) → 湯本 「箱根湯寮」 温泉入浴 → 懇親会 → 箱根湯本発 ロマンスカーはこね44号 → 新宿駅着 解散

2015年に企画した箱根のまち歩きは、箱根の噴火騒ぎで1年延期。今回初夏の箱根の緑を楽しみながら、ポーラ美術館で絵画鑑賞、大自然を探る遊歩道を楽しむ、バスを利用してのまち歩きです。帰りには箱根湯本の温泉の楽しみと懇親会。

ポーラ美術館と遊歩道散策









箱根湯寮は、「古民家風の里山温泉」で大浴場、露天風呂、壺風呂、ロウリュウサウナなどがあり、好きなお風呂を野外でたっぷりと満喫した。その後懇親会。





No.71/第59回 2016.7.30 晴 調布 鬼太郎と深大寺 小林(偉) 京王線調布駅 → 天神通り → 大正寺 → 布多天神社 → 野川そばの 大寒桜 → 虎狛神社 → 深大寺水車館 → 深沙大山堂 → 水源湧水池 → (都立神代植物公園) 水生植物園 → 深大寺城跡 → 鬼太郎茶屋 → 深大寺 → 深大寺天然温泉 湯守の里 入浴 → 懇親会

熱中症対策をしっかりとしてスタートしました。汗をかいた後は深大寺の黒湯を楽しむ湯守の里での温泉と懇親会です。

ゲゲゲの鬼太郎など妖怪のオブジェが並ぶ天神通り。











深大寺天然温泉 湯守の里。黒湯を楽しむ。10cmほどの深さでもう手が見えなくなる黒茶色のお湯でした。お食事処で、懇親会を2時間ちょっと。



No.72/番外編13 2016.9.1~9.3 晴と曇 鳴門・徳島 笠井

一日目: 羽田空港集合→徳島空港着→バスで鳴門公園:→渦の道展望室→架橋記念館→ホテルチェックイン→懇親会「さかなばたけ」

二日目: 大塚国際美術館へ→美術館鑑賞→ 鳴門駅経由で徳島駅→東急ホテルチェックイン → 懇親会「銀乃介」

三日目: 阿波十郎兵衛屋敷見学→阿波おどり会館見学と体験 →徳島城博物館→徳島駅から徳島空港→「阿波膳」にて懇親 会→羽田空港

目玉は、鳴門の渦の道、大塚美術館の館内ほぼ1日鑑賞歩き、 阿波十郎兵衛屋敷での阿波人形浄瑠璃の見学、阿波踊り会館 での阿波踊り体験チャレンジなどでした。

渦の道 展望室から





阿波十郎兵衛屋敷見学





No.73/番外編14 2016.12.9 ~ 12.11 おおむね好天 京都 京都御所、疎水幽界を訪ねて 今西

一日目: 京都駅→京都御苑(京都御所、仙洞御所、迎賓館)

→ 室町通、今出川通、相国寺、出雲路幸神社、阿弥陀寺→ 京町 家で 懇親会

二日目: 坂本駅→日吉大社と周辺→「鶴喜そば」→琵琶湖疎 水取入れ口→上栄町駅から蹴上駅へ→蹴上疎水→無鄰菴→高 瀬川→懇親会

三日目: 知恩院→丸山公園→いもぼう本店→東山の幽界めぐり(安井金毘羅宮、崇徳天皇陵、六道珍皇寺)→高瀬川に沿って渉成園→京都駅で解散

第1回目の京都のまち歩き。仙洞御所の見学ができるか最後の 最後まで分からなかったが、結果はすべてうまくいった。



仙洞御所











No.74 2017.2.25 快晴 江戸時代の行楽地 目黒界隈 倉林 目黒駅→行人坂・大円寺→目黒不動→青木昆陽の墓→大鳥神 社→目黒川→旧朝倉邸→代官山→西郷山公園→南平台→渋 「清流 初つぼみ 渋谷店」 打ち上げ:

大円寺石仏群



江戸五色不動尊

瀧泉寺 目黒 天台宗 目青 教学院 天台宗 南谷寺 天台宗 目赤 目黄 永久寺 天台宗 目黄 最勝寺 天台宗 江戸川区平井 目白 金乗院 真言宗 豊島区高田

目黒区下目黒 世田谷区太子堂 文京区本駒込 台東区三ノ輪





No.75 2017.4.15 晴 谷根千 星野・長谷川

須藤公園 → 旧安田楠雄邸→宮本百合子旧宅門柱→高村光雲、光太郎旧宅跡→青鞜社発祥の地→鷗外記念館、観潮楼跡→千駄木ふれあいの杜→夏目漱石旧宅跡→根津神社→へび道、夜店通り→岡倉天心公園→谷中防災コミュニティーセンター→築地塀→ゆうやけだんだんと谷中銀座→修性寺・青雲寺→故郷亭で懇親会

今回はアーカイブ第3回で立ち寄らなかった「旧安田楠雄邸」 建物内&庭園見学をメインに「谷中銀座」自由散策を入れて コンパクトなまち歩きと懇親会です。

旧安田楠雄邸





鴎外記念館には入館せず、裏口 の庭で案内人から説明を聞く。



ゆうやけだんだんと谷中銀座 (自由散策)





No.76 2017.5.6 晴・曇 秩 父 武馬 西武秩父駅→牧水の滝→羊山公園 芝桜→秩父銘仙館→秩父 市街を散策、秩父神社→秩父まつり会館→秩父鉄道で武州日野 駅→鈴加園、懇親会→西武秩父駅→池袋駅で解散

今回は念入りな下調べを実施しての本番、秩父羊山公園の 芝桜と猪鍋をメインに秩父神社見学などをとり入れてのまち歩きと 懇親会です。

羊山公園芝桜鑑賞



秩父まつり会館



送迎バスで鈴加園、懇親会料理は、4人前の熊・猪・鹿肉の石板焼きと猪鍋を、8人で食べられるようお願いする。







No.77 2017.7.22 晴 等々力渓谷 笠井・脇田 九品仏駅発→浄真寺→等々力駅へ電車移動→等々力渓谷見学 (ゴルフ橋から)→野毛大塚古墳→等々力渓谷3号横穴→不 動の滝と等々力不動尊→日本庭園→多摩堤通りへ→二子玉川 公園 帰真園→ 懇親会→二子玉川駅で解散

暑い暑い夏のまち歩きは、熱中症対策を十分にしての参加。 さらに、夏の等々力渓谷は、やぶ蚊に刺されるかもと長袖や 蚊刺され防止薬の準備をしての参加となりました。

等々力渓谷見学







懇親会前の時間つぶし





No.78 2017.10.28 小雨 赤坂迎賓館 荻原 赤坂離宮迎賓館西門 → 花鳥の間 → 彩鸞の間 → 大ホール → 羽衣 の間 → 主庭 → 前庭 → 東門 → 赤坂駅 → 懇親会 六本木「サテン ドール」

小雨が時々降っているが、迎賓館の中での見学が主なので問題ないだろう。館内は「花鳥の間」「彩鸞の間」「大ホール」「羽衣の間」の順で回り、外に出て「主庭」から「前庭」を経て「正門」から退館。

主庭:外はまだ小雨。主庭からの 建物と大噴水を見る。



前庭:玄関飾りの 16枚の花びらの菊 の御紋や五七の桐 について説明して くれた。集合写真。









N0.79 2018.1.27 晴 東上線沿線 幻の遊園地「兎月園」と 「花岡学院」跡を訪ねる 浅見

成増駅 → 川越街道旧道 → 白子宿(和光市) → 白子川沿いの崖線 → 兎月園跡 → 大正デモクラシーの教育の場 花岡学院跡 → 光が丘公園 → 新年会会場(光が丘地区) 味処「のぼる」

今回は、東京都と埼玉県の境をなす「白子川」が造りだした崖線に沿って、板橋区〜埼玉県和光市〜練馬区光が丘へとアップダウンのあるまち歩きでした。

東京人は川越街道(川越に行く 道)と呼ぶが川越の人は東京街道 (東京へ行く道)と呼ぶ。15世紀に江戸城が築かれた時期に川越と江戸間の古道を繋ぎ合わせたのが起源で、江戸時代に整備が進みが起源で、江戸時代に整備が進るが、江戸時代に近づくとかが"旧道"で白子川に近づくとかいがが過になる。昭和8年に緩やかに開削された。



明安寺で記念写真

白子川崖線





No.80 2018.2.24 晴 広尾・恵比寿ガーデンプレイス 倉林・ 笠井

有栖川宮記念公園 → ナショナルマーケット → 廣尾稲荷神社 → 祥雲寺・黒田長政の墓 → エビスビール記念館 → 恵比寿ガーデンプレイス → 東京都写真美術館 → 「しげぞう」にて懇親会

厳冬期なので、歩く時間は短くして、特色のあるお店でショッピングや美術鑑賞を中心にした企画の広尾・恵比寿ガーデンプレイスのまち歩きがスタートしました。

有栖川宮記念公園:白い梅が満 開で、一番上の梅の白い枝にメ ジロがちょろちょろ動いていた。



二代将軍秀忠が、鷹狩りの際、この地に稲荷を移して祀ったとのこと。本殿の天井に描かれた「墨龍図」は高橋由一によるもの。





東京都写真美術館:5時過ぎに美術館に着き、6時まで各自での自由鑑賞時間となる。その後、

「しげぞう」 にて懇親会 No.81 2018.3.31 晴 小田原宿場町 小林偉 小田原駅出発→松永記念館・老欅荘→古稀庵→一夜城跡→小田原漁港で昼食→小田原文学館→ういろう(外郎博物館)→ 静閑亭→報徳二宮神社→小田原城→「田むら銀かつ亭」にて 懇親会

今回のテーマは、①東海道沿いの宿場や明治、大正の旧居を楽しむ、②秀吉の一夜城跡から小田原城を展望、その後、小田原城天守から石垣山一夜城跡を展望、③小田原文学館への桜並木や小田原城の桜を楽しむ、です。

石垣山一夜城跡:帰りは、石が ごつごつとしている急な坂道を 降りていく。帰りは5分。



小田原漁港の魚市場食 堂:案内人は小田原丼を 頼む。ご飯が見えない。



小田原文学館(田中光顕伯爵の別邸)そばの桜並木をバックにした集合写真を撮る。



No.82 2018.6.15~6.17 小雨・晴 京都 非公開の庭園、伏見、

三条通商店街 今西

一日目:地下鉄京都駅出発蹴上駅着→流響院→南禅寺そばで休 憩→對龍山荘→古川町の民泊町家→懇親会

二日目:京阪三条、石清水八幡宮→御香宮神社→桃山御陵明治 天皇陵→桓武天皇柏原陵→伏見界隈→金札宮→竜馬通り→寺田屋 跡→月桂冠の「月の蔵人」居酒屋で懇親会

三日目:二条駅へ→神泉苑→六角獄舎跡、日本近代医学発祥地 →武信稲荷神社→三条通り商店街→本能寺跡→京都芸術セン ターで流れ解散

京都東山でも非公開の流響院と對龍山荘の見学がメイン。小雨の中で苔がしっとりとした最高の庭園見学でした。翌日は、前日の雨で見晴らしが良くなり、石清水八幡宮山頂から鳥羽伏見の戦いや宇治川をすっきりと遠望できました。

石清水八幡宮:茅の輪く ぐり前で集合写真を撮る。



月桂冠の「月の蔵人」居酒屋





No.83 2018.8.4 曇 富士山絶景巡り 富士山の西側を歩く 平場トレッキング 柴田・小林(偉)

富士宮駅 →バス→ 朝霧高原・絶景ポイント-1→ 富士養鱒場 → 陣馬の滝 → 【東海道自然歩道】緩い登り・木陰 → 小田貫湿原・絶景ポイント-2 【ボード・ウオーク】 → 【東海道自然歩道】 → 田貫湖・絶景ポイント-3 → 田貫湖南バス停 → 富士宮バス停 → 懇親会「柚子」

今回は、富士山の絶景を足元から眺める、平場トレッキングです。案内人の奥さん(018)がレンタカーで付き添ってくれて、熱中症対策、足の弱い人対策、荷物運びなど介護への考慮も十分でした。

養鱒場







陣馬の滝



No.84 2018.10.6 曇から晴 ビール工場、競馬場、武蔵国府を 歩く 武馬

倍河原駅→無料送迎バス→ビール工場、見学と試飲・ショッピング→東京競馬場→馬場・パドック、競馬博物館、昼食・競馬観戦など自由行動→武蔵国衙跡→大國魂神社→ふるさと府中歴史館→馬場大門欅並木→懇親会

今回のテーマは、ユーミンの「中央フリーウェイ」の「右に見える競馬場、左はビール工場」と校歌「武蔵の国ぞ大いなる」

の武蔵国府跡をめぐるまち歩きです。

ビール工場、見学、そこでユーミンの「中央フリーウェイ」のサイン色 紙が飾られていた。

東京競馬場:爆走する馬の迫力を楽しむことができた。











No.85 2018.12.1 晴 生田緑地 日本民家園と岡本太郎美術館 笠井

小田急向ヶ丘遊園駅 → 川崎市立日本民家園 → 岡本太郎美術館 → 向ヶ丘遊園駅 → 懇親会

今回は、多摩丘陵の東端が多摩川とぶつかるあたりにある広大な公園「生田緑地」にある「日本民家園」と「岡本太郎美術館」です。思いがけない美しさの"紅葉"も楽しめて充実した"まち歩き"でした。



原家の居間



長野県の「5: 水車小屋」19C中

日園ラ川箇掌並木に写本のイ郷山造ぶ家て真民ハト・のり佐前集家イ白五合が々庭合



No.86 2019.1.12 曇 神楽坂と印刷博物館 新年会 浦城 飯田橋駅→牛込御門跡→坊ちゃんの塔→若宮八幡→小栗横丁、 神楽小路→ギンレイホール→神楽坂仲通り→毘沙門天、善国 寺→兵庫横丁→寺内(じない)公園→筑土八幡神社→トーハ ン本社ビル→印刷博物館→新年会

曇り空の下で、しっとりとした初春の神楽坂の街並みの雰囲気を味わい、楽しむことができました。その後、印刷博物館で学芸員の話やVR(仮想現実)を楽しみ、太古と最新の技術を楽しむことができました。そして、新年会会場へ向かい、今年最初の懇親を深めました。



新年会は始まる。店の名 前のアワビも出てくる。



善国寺には石虎が飾られている。





同窓会長でまち歩きの仲間、俵氏の急逝(1月9日)を悔やみ、 献杯を最後に実施しました。 No.87 2019.2.2 快晴 東海道七福神巡りと海苔のふるさと大森河端・柴田

新馬場駅北口→法善寺【布袋】→一心寺【寿老人(福禄寿)】 →品川寺(ほんせんじ)【毘沙門天】→青物横丁駅→(2駅)立 会川駅→坂本龍馬像→天祖神社【福禄寿】→立会川駅→(1駅)大 森海岸駅→磐井神社【弁財天】→川島屋海苔問屋→平和の森公 園・海苔のふるさと館→海浜公園人工渚→貴船神社・厳正寺→ 懇親会

昔は海に面していた旧東海道と大森界隈の今を発見するまち歩きです。

法善寺の前には、

【布袋ほてい】が立っている。



海浜公園人工渚:白い砂浜が 300mほど広がっている。どこ から運んできたのかななどと言 いながら、浜辺を歩く。



磐井神社【弁財 天】:大きなり 本の木はパワイ を与えてくれるで ま合記念 を撮る。



No.88 2019.3.30 曇 お花見と荒川岩渕水門 横山・小林俊 JR 赤羽駅北口→ヌーヴェル赤羽台(赤羽台団地)→近辺の桜 の名所(旧保健所通りの桜並木)→諏訪神社→星美学園→赤 羽八幡神社→新荒川大橋(桜の土手で花見の宴)→荒川知水 館→岩渕水門(赤水門・青水門)→町家改造地区→懇親会

当日朝は早めに赤羽駅に集合して、呑み助の皆さんのお花見に必須のワインを6本と日本酒2本を購入。おつまみも用意。

新荒川大橋(桜の土手で花 見の宴):ビニールシート を敷き始める。有志が家か ら持参してくれたものだ。 ワインのコップで乾杯をす る。記念写真も撮る。

赤水門(旧岩淵水門)の見学



No.89 2019.6.8 曇 柴又帝釈天と水元公園 安藤・武馬 JR 柴又駅 寅さん像前→帝釈天参道→柴又帝釈天(題経寺)→ 矢切の渡し→江戸川べり散策→金町駅バス停→水元公園菖蒲園 →しばられ地蔵または水元公園金魚園→水元公園お食事処涼亭 →懇親会金町駅日本海

柴又帝釈天の参道を散策しながら、江戸川べりを矢切の渡しへと進みます。今回は渡し船には乗らずに、江戸川べりをゆっくりと散策。バスで水元公園に向かいます。水元公園はちょうどこの時期、「菖蒲まつり」で盛り上がっています。





矢切の渡し



水元公園菖蒲園





No.90 2019.8.31 晴 神田川クルーズと暑気払い 浦城 歩かないまち歩き:日本橋船着場 ⇒ 日本橋川 ⇒ 神田川 ⇒ 隅田 川 ⇒ 日本橋川 ⇒ 日本橋船着場 ⇒ 懇親会

暑さが異常にきびしい昨今、町中を歩くのはきつい、宿泊を伴 うまち歩きは、いろいろ事情があって参加できない。でもまち 歩きの仲間とご一緒したい……ということで、急遽、泥縄みた いですが、"歩かない「まち歩き」(神田川クルーズ)"を立ち 上げました。

麦わら帽子の無料貸し出しもあ りました。



集合写真を、クルーズ会社 の人に撮ってもらいました。









No.91 2019.9.8~9.9 猛暑 名古屋城・犬山城と明治村 笠井

一日目:名古屋駅 → 名古屋城本丸御殿 → 「金シャチ横丁」で

昼食 ⇒ 犬山城 ⇒ 犬山シティホテル

二日目:犬山駅 ⇒ 明治村 ⇒ 「明治の洋食屋」 で昼食 ⇒ 犬山

駅 ⇒ 名古屋駅

昨年、本丸御殿が復元された名古屋城と、江戸時代からの天守が保存されている国宝・犬山城、そして、広大な敷地に60棟を超える明治の建築物が移築されている明治村を1泊2日で訪ねる企画。

名古屋城と 国宝・犬山城





明治村:フランク・ロイド・ライトが設計した名建築「旧帝

国ホテル|





No.92 2019.10.25~10.27 曇・晴・晴 大阪のまち歩き 浅見 25 日:大阪駅桜橋口改札 → プレミストタワー → 大丸百貨店 →

生駒時計店→鯛よし百番

26 日:大同生命→ 府立中之島図書館→ 含水堂・華岡鹿城顕彰碑 → 大阪取引所→ 新井ビル(旧報徳銀行大阪支店)→ 緒方洪庵適 塾→ 柴川ビル→ 慶沢園→ 通天閣→ 道頓堀→ 御堂筋の将来計画 説明→ たこ梅

27日:肥後橋→大阪駅→芦屋川駅→ヨドコウ迎賓館→滴翠美術館→解散

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2019 (26, 27日) に合わせて大阪のまち歩きが計画されました。大阪のキタとミナミの雰囲気の違いを肌で感じられました。

生駒時計店



あべのハルカス を背景に記念写 真を撮る。









No.93 2019.11.28~30 初夏のシドニー 八重樫

28 日:ホリデーイン・ダーリングハーバーのロビー集合→ライ トレールでレストランへ**→**夕食

29 日:ホテル出発→電車でミルソンズ・ポイント駅→船でバラ ンガルー埠頭へ**→**昼食→オペラハウス内部日本語ツアー→ハー バーブリッジを徒歩で対岸まで→オーストラリアワインのテイ スティングと夕食

30日:シドニー湾見学へ→ザ・ギャップ見学→昼食→サーキュ ラーキー埠頭へ→ロックスとアートギャラリーNSW&クイーン ビクトリアビル見学に分かれる **→**解散

シドニー在の案内人によるシドニーまち歩きです。計画は4月か ら始まりましたが、参加者のそれぞれの都合に合わせるため、 シドニー現地での集合となりました。







テイスティングと夕食

案内人の女性先輩のマン ションに行き、オーストラ リアのワインのテイスティ ングを始める。



No.94 2019.12.14 晴 北区西ヶ岡と忘年会 横山・和田 JR 赤羽駅 → ナショナルトレーニングセンター・イースト → 稲 付西山公園 → 国立西が丘サッカー場 → 赤羽自然観察園 → 北区 ふるさと農家体験館 → 都営三田線本蓮沼駅 → 巣鴨駅 → 懇親会

2019年後半はハードなまち歩き(犬山や大阪やシドニーでのまち歩き)が続いたので、12月は皆が参加しやすいミニのまち歩きが企画されました。当然、2019年の締めくくりとして盛大な忘年会も実施されました。

ナショナルトレーニングセンター(NTC)・イースト



赤羽自然観察園





No.95 2020.2.8 晴 菜の花と梅の湘南 小林

1部: JR 二宮駅 → 吾妻山山頂 → 昼食魚処にしけん→ 二宮駅 2部のメンバーと合流: 二宮駅→徳富蘇峰記念館と梅園→旧 吉田茂邸→大磯駅→懇親会

2020年最初のまち歩きは、湘南の二宮と大磯に咲く菜の花と梅

の花を楽しもうという企画でした。

吾妻山山頂







入り口の兜門下には車寄

せがあり、上皇御夫妻が



2020年は、コロナ禍による自粛のため1回のみ。 2020年、2021年は一度も開催できず。 2022年は、歩きは1回のみ。

No.96 2022.9.24 - 「久右衛門邸」オンライン 河合・河村初のオンラインまち歩き。横浜市東戸塚の「久右衛門邸」をベースに、各参加者は Zoom で近況報告と会話を楽しんだ。進行役は河村。

新型コロナの感染拡大で、2020年2月8日(土)の「菜の花と梅の湘南まち歩き」以降のまち歩きは中断されていました。小石川でのOB/OG参加のイベントも中断続きの状態のなか、2022年8月末に戸叶さんからZoomによるオンラインでの歩かないまち歩きを開催しようとの提案がありました。同窓会オンライン懇親会(サロン)コーディネーターの018I河井さんと035D河村さんが企画・司会進行役。

築200年の古民家をリニューアルしたレストラン。カフェーもあります。チャペルもあり、結婚式もできるようです。







No.97 2022.12.7 晴 晩秋のさがみ野と久右衛門邸 訪問 松永相鉄いずみ野線緑園都市駅→横浜市立 緑園学園 →サンステージ緑園都市東の街→フェリス女学院大学 緑園キャンパス → 猿田彦神社→名瀬ふれあい広場→久右衛門邸周辺散策→久右衛門邸見学と 懇親会→さかえ橋バス停→バス移動解散

待ちに待ったリアルのまち歩きが2022年12月3日土曜に実施されました。本年9月18日日曜にオンラインで開催された久右衛門邸に実際に訪問してディナーを楽しむことに加え、案内人が地元の東戸塚の里山を選んで晩秋のさがみ野を楽しむことができました。まだ一部紅葉も残っていて、秋の色を楽しめました。

サンステージ緑園都市東の街



名瀬川沿い小川アメニティ



カフェーの建物は道具 置き場だったようだ。





No.98 2023.8.27 曇 麻布大使館巡り 浅見 六本木ヒルズ→大使館8カ所→有栖川宮記念公園・都立中央 図書館→ドイツ連邦共和国→フランス大使公邸→大使館5カ 所→氷川神社→大使館1カ所→麻布十番商店街を横切る→懇 親会

2023年8月26日土曜に実施されたまち歩きは、コロナによる中断 (2020.2.8菜の花と梅の湘南)以来にもかかわらず、以前同様で

参加者14人でした。



六本木ヒルズWEST WALK 入り口付近に集合









No.99 2023.10.22 晴 ゆらり舟旅 小豆沢から両国へ 横山都営三田線志村坂上駅→志村一里塚→小豆沢公園戸田橋親柱→小豆沢神社→御手洗池(御手洗不動旧跡)→水上バス小豆沢発着場→ゆらり舟旅(神谷、あらかわ遊園、千住、浅草二天門、両国)→懇親会

2023年10月22日日曜に志村坂上駅からゆっくりと4カ所ほどを 見学し、水上バス乗り場から、両国に向かってゆらりと舟旅を するという、プチまち歩きでした。

志村一里塚



上部デッキで見学する人も多いが、やはり夕方は寒くなってきたので、船内に戻ったりしながら景色を楽しむ。





懇親会は、土俵のある1階を見て、2階に 上がる。





祝100回達成

No.100 2023.12.2 晴 小石川正門からゆかりの地を巡る 倉林 小石川中等教育学校正門前→明化小→文京十中、林町小等→ 占春園・教育の森公園→旧同心町校舎(現茗台中)→竹早高 校→傳通院→善光寺坂のムクノキと澤蔵司稲荷→こんにゃく 閻魔→懇親会

2023年12月2日土曜に小石川中等教育学校正門(旧小石川高校)から我々小石川生のゆかりの地を巡る100回記念の紫友まち歩きが実施されました。

なお、本企画は元紫友同窓会会長俵さんが残して逝ったものを、 015F倉林さん他が具体化したものです。

スタートは小石川中等教育学校





文京10中



傳通院

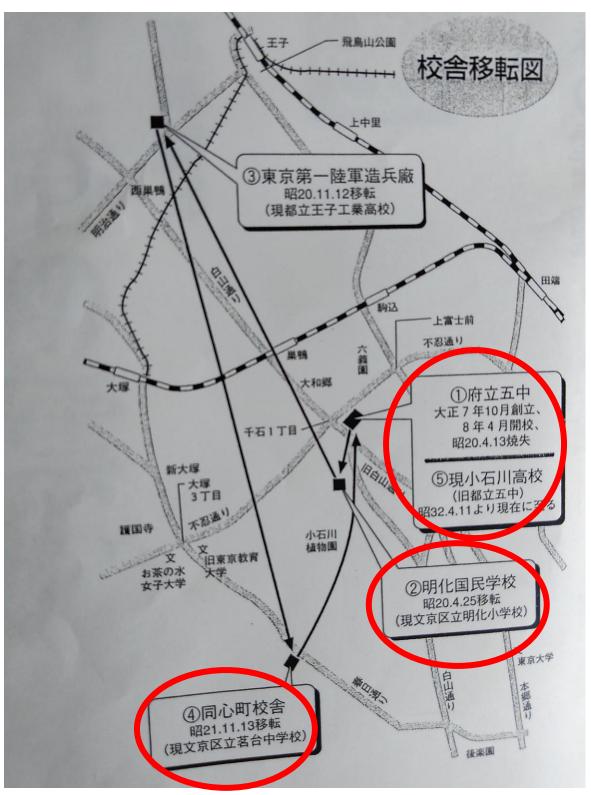






参考に倉林さんからの資料を以下に示します。

今回のまち歩きは赤丸○です。



出典:「青春の雲、動く 高崎哲朗著 創林社 P221」



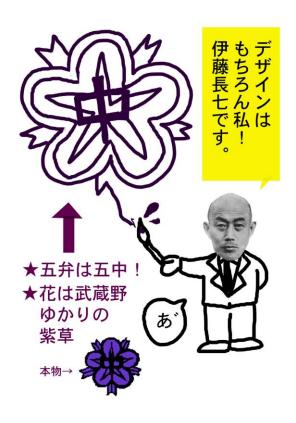




^{東京府立五中} 初代校長?









85周年祭での017Dパネラーズ制作のパネルです。85周年祭の伊藤長七展会場への誘導のため校舎入口などに展示されました。パネル・デザイン:樋口美夏さん(現在、漫画家として活躍中)



私の作品の モデルにも させて 戴きましたよ。

「破戒」です。

学生諸君、 読みましたか?



島崎藤村の「破戒」 えぇ!土屋銀之助のモデル!?

そんな情熱教育家 伊藤長七展は3階会場です

交歌 ♪

尊のみいつ吾嬬路 今将た仰ぐ帝城 古りし歴史は二千年 武蔵の国ぞ大いなる

作詞は私、 伊藤長七! さぁ御一緒に!

※なんと 6番まで あります。



豊葦原

もうおわかりですね

彼

照れるなぁ

こそ

天才教育者! 今風に言えば カリスマ教師

友よ! 伊藤長七展を見ずして 小石川を語るなかれ!!!



伊藤長七は、日本の教育者。東京府立第五中学校の初代校長 として大正自由教育運動を担い、当時としては画期的な教育 を次々と打ち出した型破りの教育者として知られる。